

第八次宮崎県森林・林業長期計画に基づく  
令和6年度の実施について

# I 多面的機能を持続的に発揮する豊かな森林づくり

## 【施策の展開】

### 1 適切な森林管理の推進

地域森林計画や森林経営管理制度及び森林ゾーニングに即した施策による適正な森林整備・保全や、ICT等を活用した森林関連情報の的確な把握と年齢構成の平準化を進め、多様で豊かな森林づくりの推進に努める。

#### 【具体的な施策】

(1) 森林計画制度に即した適正な森林の整備・保全		取組成果	主な関連事業名等	関係部局
取組状況				
○ 民有林の森林資源状況を的確に把握し、森林・林業に関する政策の根幹となる地域森林計画を樹立した。		・ 広渡川地域森林計画の樹立 ：36,811ha	○ 森林資源情報整備推進事業 ○ 地域森林資源情報整備事業	森林経営課
	○ 森林施策等の実施の前提となる境界の確認を促進する「森林境界の明確化」等を支援し、適切な森林整備の推進を図った。	・ 森林境界明確化面積 日南市：350ha 串間市：450ha	○ 森林整備地域活動支援交付金事業	森林経営課

(2) ICT等を活用した森林関連情報の整備		取組成果	主な関連事業名等	関係部局
取組状況				
○ 県や市町村が所有するデータの森林クラウドシステムへの搭載に係る詳細設計など、機能拡張に向けた取組を行った。		・ システム利用者へのID配布 ：209者	○ 森林クラウドシステム強化事業	森林経営課
	○ 衛星画像を活用したAI判読による伐採跡地等の森林情報を適時に取得・活用し、無断伐採等の早期発見・指導を実施した。	・ 市町村の利用登録 ：26市町村	○ ICTを活用した森林情報デジタル化推進事業	森林経営課

(3) 年齢構成の平準化		取組成果	主な関連事業名等	関係部局
取組状況				
○ 森林資源の循環利用や公益的機能の高度発揮に資するため、森林経営計画に基づく計画的かつ効率的な造林、下刈り、除間伐等の適切な森林整備を支援した。		・ 造林：1,843ha ・ 下刈り：9,425ha ・ 除間伐：1,254ha	○ 森林環境保全直接支援事業	森林経営課

(4) 公的関与による森林管理		取組成果	主な関連事業名等	関係部局
取組状況				
○ 森林経営管理制度の推進のため、みやざき森林経営管理支援センターを設置し、主体となる市町村や地域林政アドバイザーの支援を行った。		・ みやざき森林経営管理支援センターに3名のアドバイザーを配置 ・ 市町村への相談対応：30回 ・ 研修会の開催：3回 ・ 令和6年度までの意向調査実績：累計17,527ha（25市町村）	○ 森林経営管理市町村支援強化事業	環境森林課 再造林推進室

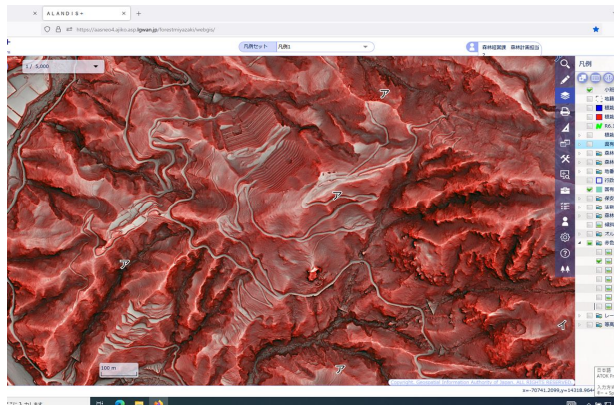
(5) 多様で豊かな森林づくりの推進		取組成果	主な関連事業名等	関係部局
取組状況				
○ 公益上重要な森林を対象に、荒廃林地における広葉樹造林や伐採後の速やかな再造林を支援した。		・ 広葉樹の植栽：8ha ・ 速やかな再造林：905ha	○ 水を貯え、災害に強い森林づくり事業	森林経営課

#### 【主な指標と実績】

項 目	策定時 現況値 (R1年度)	実績値					目標値 R7年度	達成率	目標値 R12年度
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
ICTを活用した森林管理・調査に取り組む事業体数(者:累計)	11	12	16	17	22		25	88.0%	40
森林経営管理制度における意向調査実施面積(ha:累計)	1,751	7,955	11,155	14,793	17,527		32,300	54.3%	68,200



1-(1) 森林境界の確認



1-(2) 森林クラウドシステム(微地形表現図)



1-(3)(5) 再造林(スギ苗木の植栽)



1-(4) 地域林政アドバイザー研修会の開催

## 【施策の展開】

### 2 資源循環型の森林づくりの推進

再造林や間伐等の適切な森林整備をはじめ、それを支える優良苗木の生産拡大や効率的で災害に強い路網整備を推進するとともに、森林被害の軽減のため野生鳥獣の被害防止対策等を通じて、持続可能な資源としての森林づくりに努める。

#### 【具体的な施策】

##### (1) 適切な再造林の推進とコストの低減

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
○ 再造林に向けた相談・調整等を行う地域再造林推進ネットワークを設立するとともに、ネットワークの活動を支援した。	・県内8地域にネットワークを設立 ・ネットワーク会員：173事業体	○再造林推進ネットワーク支援事業	環境森林課 再造林推進室
○ テレビCM・新聞広告や再造林推進決起大会の実施等による再造林に関する気運の醸成や理解促進及び省力化・低コスト再造林技術の普及を実施した。	・決起大会参加者：約500名 ・テレビCM放映：176本 ・SNS広告視聴回数：約200万回 等	○再造林率日本一に向けた県民意識向上事業	環境森林課 再造林推進室
○ 再造林強化区域で行う伐採後の速やかな省力・低コスト再造林や下刈りを支援した。	・造林：21ha ・下刈り：2,567ha	○再造林率向上強化対策事業	森林経営課

##### (2) 適切な間伐の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
○ 森林資源の循環利用や公益的機能の高度発揮に資するため、森林経営計画に基づく計画的かつ効率的な造林、下刈り、除間伐等の適切な森林整備を支援した。	【再掲】 ・造林：1,843ha ・下刈り：9,425ha ・除間伐：1,254ha	○森林環境保全直接支援事業	森林経営課

##### (3) 優良な苗木の生産拡大

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
○ 品種の明確な花粉症対策苗木の安定供給を確保するため、県採穂園の管理や自家採穂園のDNA分析、生産施設整備等を支援した。	・コンテナ苗生産資材：1戸 ・県採穂園の維持管理：8.54ha ・自家採穂園のDNA分析：8箇所	○品種の明確な花粉症対策苗木安定供給事業	森林経営課
○ 再造林を確実に進めるため、一貫作業システムの推進や植付作業の省力化に資するコンテナ苗の供給を支援した。	・簡易なコンテナ苗生産施設等の整備：12事業体 ・新規コンテナ苗生産者に対する穂木確保：16事業体 ・新規コンテナ苗生産者に対する試験的生産：16事業体	○成長に優れたコンテナ苗供給体制整備事業	森林経営課

##### (4) 効率的で災害に強い路網の整備

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
○ 木材流通の広域化や大型トラックによる運搬等に対応した幹線となる林道や作業道の整備や機能強化を図った。	・林道開設延長：3.1km ・森林作業道開設：31.3km	○地方創生道整備推進交付金事業 ○持続的林业推進路網整備事業	森林経営課

##### (5) 野生鳥獣被害防止対策の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
○ 適切な捕獲を実施するための基礎となる生息実態調査を実施した。 ○ 有害鳥獣捕獲班等への活動支援、狩猟者の確保・育成対策などを行い捕獲体制の整備を図った。 ○ 狩猟や有害鳥獣捕獲への助成により、シカ等の捕獲を促進し、個体数の削減を図った。	・シカの推定生息数：88千頭（令和5年度末） ・有害鳥獣捕獲班への活動支援：209班 2,443人 ・狩猟免許試験の複数回・休日の実施：3回-11会場（内休日：2回-4会場） ・事前講習会の実施：11会場139名 ・有害鳥獣捕獲への助成：シカ1,377頭、イノシシ719頭 ・狩猟への助成：シカ383頭	○有害鳥獣捕獲強化総合対策事業 ○シカ捕獲等特別対策事業 ○鳥獣保護区等周辺地域野生鳥獣管理対策事業 ○みやぎの狩猟を担う人材確保・育成事業 ○野生サル生息等調査事業	自然環境課

# (6) 再生利用が困難な荒廃農地等の森林としての活用

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
○ 品種の明確な花粉症対策苗木の安定供給を確保するため、県採穂園の管理や自家採穂園のDNA分析、生産施設整備等を支援した。	【再掲】 ・コンテナ苗木生産資材：1戸 ・県採穂園の維持管理：8.54ha ・自家採穂園のDNA分析：8箇所	○品種の明確な花粉症対策苗木安定供給事業	森林経営課

## 【主な指標と実績】

項 目	策定時 現況値 (R1年度)	実績値					目標値 R7年度	達成率	目標値 R12年度
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
再造林面積(ha)	2,134	2,092	2,151	2,242	2,079		2,200	94.5%	2,200
うち、造林と伐採の連携による再造林面積(ha)	296	302	365	374	384		400	96.0%	500
スギ苗木生産量(万本)	568	590	633	612	612		640	95.6%	700
うち、コンテナ苗木生産量(万本)	146	197	274	275	296		240	123.3%	300
林内路網密度(m/ha)	38.7	39.0	39.1	39.2	39.3		39.7	99.0%	40.6

項 目	策定時 現況値 (H30年度)	実績値					目標値 R7年度	達成率	目標値 R12年度
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
シカ推定生息数(頭)	101,000 (H30)	94,000 (R2)	82,000 (R3)	86,000 (R4)	88,000 (R5)		65,000	73.9%	47,000
シカ捕獲数(頭)	28,932 (H30)	29,604	25,565	26,113	24,062		18,000	133.7%	14,000



2-(1) 再造林推進決起大会の開催



2-(3) 試験的生産への支援(穂木の挿し付け)



2-(4) 林道開設事業 山神・持田線



2-(5) わな捕獲技術向上研修会

## 【施策の展開】

### 3 安全・安心な森林づくりの推進

林地の保全や保安林制度の適正な運用に努めるとともに、計画的な治山事業の実施と森林の適正な管理に加え、風倒木・流木や林野火災への対策及び森林病虫害対策などを通じて安全・安心な森林づくりを推進し、県土の保全に努める。

#### 【具体的な施策】

##### (1) 林地の保全と保安林の適正な管理の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
○ 水源の確保、災害の防止、環境の保全を期するため、保安林を指定するとともに、保安林の公益的機能を維持するため、整備を行った。	・保安林の指定率 ：32.0% ・保安林の整備 ：26ヶ所	○保安林管理事業 ○保安林整備事業	自然環境課
○ 災害の防止、水資源の確保、環境の保全、水害の防止に留意した秩序ある林地開発を指導・許可を行った。	・林地開発許可 ：2件3.1ha	○林地開発管理事業	自然環境課

##### (2) 山地災害の防止と復旧対策の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
○ 荒廃森林や山地災害危険地区等において、治山施設を整備することにより、事前防災・減災を推進するとともに、山地災害の復旧を行った。 積極的な山地災害防止キャンペーンの展開と市町村と連携して地域住民への危険地区の情報提供に努め、防災意識の高揚とともに、治山施設の点検結果を踏まえた老朽化対策に取り組み、災害防止機能の維持、向上を図った。	・山地治山事業57箇所 ・緊急治山事業8箇所 ・県単治山事業10箇所 ・県単補助治山事業10箇所 ・山地災害防止キャンペーン	○山地治山事業 ○緊急治山事業 ○県単治山事業 ○県単補助治山事業 ○老朽化対策事業	自然環境課

##### (3) 風倒木・流木対策の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
○ 溪流等の周辺にある不安定な立木や溪流等に堆積した流木等の伐採及び除去等や林外等への搬出等を行い、流木等の河川や海岸への流出を防止し、安全・安心な県民生活の確保を図った。	・県内5箇所の流木等 ：940空m3	○荒廃溪流流木等対策事業	自然環境課
○ 短尺材・枝条等を収集運搬し、木質バイオマスとして有効活用する取組に支援した。	・地域協議会への支援：6協議会	○流木抑制等バイオマス活用促進事業	山村・木材振興課みやざきスギ活用推進室

##### (4) 林野火災防止対策の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
○ 各地域で森林パトロールや林野火災予防パレードを実施するとともに、県庁HP等により林野火災の予防を啓発した。	・森林パトロール（巡視）の実施 ：8地区 98回	○林野火災予防事業 ○森林保全管理事業	自然環境課

##### (5) 森林病虫害対策等の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
○ 海岸林等の公益的機能を保全するため、保安林等公益的機能の高い松林を対象に、航空機による薬剤防除等を実施し、松くい虫被害のまん延を防止した。	・薬剤空中散布：388ha ・地上散布：119ha ・伐倒駆除：1,426㎡ ・樹幹注入：84本	○森林病虫害等防除事業	自然環境課
○ 県木フェニックスのヤシオオオサザウムシによる被害等防止対策を行った。	・フェニックスの薬剤防除及び伐倒駆除：12本	○名木等保全事業	自然環境課

【主な指標と実績】

項 目	策定時 現況値 (R1年度)	実績値					目標値 R7年度	達成率	目標値 R12年度
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
保安林指定率(%)	29.9	31.0	31.3	31.7	32.0		31.9	100.3%	33.6
山地災害危険地区の治山事業着手箇所数(箇所:累計)	2,557	2,589	2,600	2,602	2,617		2,655	98.6%	2,737



3-(1) 令和6年度保安林整備事業 小原地区



3-(2) 令和3年度災害関連緊急治山事業及び令和4年度緊急総合治山事業 磯平地区(宮崎市)



3-(4) 林野火災予防パレード



3-(5) 令和6年度松くい虫薬剤防除事業(特別防除:宮崎市)

## Ⅱ 持続可能な林業・木材産業づくり

### 【施策の展開】

#### 1 効率的な林業経営と原木供給体制の確立

施業の集約化や経営感覚に優れた林業事業体の育成等により効率的な林業経営を進めると併せて、法令遵守や環境への配慮など「持続可能な資源の循環」に資する効率的で安定的な原木供給体制の確立を推進する。

#### 【具体的な施策】

##### (1) 施業集約等による効率的な林業経営の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
○ 森林経営管理制度の推進のため、みやざき森林経営管理支援センターを設置し、主体となる市町村や地域林政アドバイザーの支援を行った。	【再掲】 ・みやざき森林経営管理支援センターに3名のアドバイザーを配置 ・市町村への相談対応：30回 ・研修会の開催：3回 ・令和6年度までの意向調査実績：累計17,527ha（25市町村）	○森林経営管理市町村支援強化事業	環境森林課 再造林推進室

##### (2) 経営感覚に優れた林業事業体の育成

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
○ 林業就業者の就業環境の改善や新規就業者の継続雇用を支援した。	・軽労化への取組支援：8事業体 ・造林保育従事者の継続雇用援：2事業体	○ひなたのチカラ林業担い手確保育成推進事業	山村・木材振興課
○ 木材産業・素材生産業の経営改善及び作業安全の確保を図るため、専門家の派遣・指導や安全研修会等を実施した。	・専門家派遣：4事業体 ・安全研修会：2回 ・安全点検：1箇所	○木材産業等経営・作業安全強化事業	山村・木材振興課 みやざきスギ活用推進室

##### (3) 持続可能な原木供給体制の確立

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
○ 持続的な森林経営と原木の安定供給体制の強化や原木市場等における業務の効率化を図るため、モデル的に行う山元土場から原木市場までのデジタル情報のネットワーク構築に係る経費を支援した。	・原木管理クラウドの実装に向けた運用試験及び改修 ・原木管理クラウドと既存システムとの連携構築	○原木流通情報デジタル化推進モデル事業	山村・木材振興課 みやざきスギ活用推進室

##### (4) 効率的な機械化の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
○ レーザ計測等を複合的に用いた森林調査等の実証を行った。	・ドローンによるレーザ計測等を用いた森林調査手法の実証（県内2カ所、19.44ha） ・クラウド型ドローン測量ツール操作研修会の開催：1回（25名参加）	○ドローンによる森林調査等実証事業	環境森林課 再造林推進室
○ 持続的かつ効率的な林業生産活動を推進するため、高性能林業機械等の導入を支援した。	・高性能林業機械等導入：3台（宮崎市）	○合板・製材・集成材国際競争力強化・輸出促進対策事業	山村・木材振興課 みやざきスギ活用推進室

# 【主な指標と実績】

項 目	策定時 現況値 (R1年度)	実績値					目標値 R7年度	達成率	目標値
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			R12年度
素材生産量(千m³)	1,999	2,131	2,031	2,001	1,894		1,900	99.7%	1,900

項 目	策定時 現況値 (H30年度)	実績値					目標値 R7年度	達成率	目標値
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			R12年度
林業産出額(億円)	291	372	336	295	未公表		291	-	292



1-(2) 軽労化への支援(苗木運搬ドローン)



1-(3) 原木流通情報デジタル化(実証試験現地説明会)



1-(4) クラウド型ドローン測量ツール操作研修会



1-(4) 高性能林業機械等の導入(ハーベスタ)

## 【施策の展開】

### 2 木材産業の競争力強化

製材品の加工・流通体制のさらなる効率化・合理化はもとより、大径材の利用価値の向上へつなげる取組に加え、林地残材の効率的な収集・運搬方法の確立等を通じた未利用木質バイオマス産業の育成や新たな木材需要の創出に取組み、競争力のある木材産業の構築を推進する。

#### 【具体的な施策】

##### (1) 木材加工・流通ネットワークの構築

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
○ 素材生産・流通の合理化を推進するための融資を行った。	・融資実績 ：35件、1,218百万円	○木材産業振興対策資金・木材産業等高度化推進資金	山村・木材振興課 みやざきスギ活用推進室
○ 持続的な森林経営と原木の安定供給体制の強化や原木市場等における業務の効率化を図るため、モデル的に行う山元土場から原木市場までのデジタル情報のネットワーク構築に係る経費を支援した。	【再掲】 ・原木管理クラウドの実装に向けた運用試験及び改修 ・原木管理クラウドと既存システムとの連携構築	○原木流通情報デジタル化推進モデル事業	山村・木材振興課 みやざきスギ活用推進室

##### (2) 高品質・効率的かつ大径材加工に対応した生産体制の構築

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
○ 加工施設の効率化、競争力のある製品への転換を支援するとともに、原木の安定供給・生産コスト低減を図るため、高性能林業機械の導入等を一体的に支援した。	【一部再掲】 ・木材加工流通施設 ：7箇所（延岡市、都農町、高原町、都城市、日南・串間市） ・高性能林業機械等 導入：3台（宮崎市）	○林業・木材産業構造改革事業 ○合板・製材・集成材国際競争力強化・輸出促進対策事業	山村・木材振興課 みやざきスギ活用推進室

##### (3) 木質バイオマス活用の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
○ 短尺材・枝条等を収集運搬し、木質バイオマスとして有効活用する取組を支援した。	【再掲】 ・地域協議会への支援：6協議会	○流木抑制等バイオマス活用促進事業	山村・木材振興課 みやざきスギ活用推進室

##### (4) 新たな木材需要創出に向けた取組の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
○ 一般流通材で建築できるモデル畜舎の標準設計の作成や、民間事業者が計画する非木造施設に対し、木造設計を提案する支援等を行った。	・モデル畜舎（牛舎）の標準設計等の作成 ・木造の提案支援：1件	○みやざき木の建築モデル普及事業	山村・木材振興課 みやざきスギ活用推進室

## 【主な指標と実績】

項 目	策定時 現況値 (R1年)	実績値					目標値 R7年度	達成率	目標値 R12年度
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
製材品出荷量(千m³)	955	1,006	994	882	882		920	95.9%	920
製材品の全国シェア(%)	10.6	11.1	11.6	11.1	11.6		11.6	100.0%	13.0
人工乾燥材生産量(千m³)	466	522	518	485	517		466	110.9%	494
人工乾燥材率(%)	58.0	57.7	56.4	61.2	64.1		60.5	106.0%	64.2



2-(2) 木材加工流通施設の整備(原木選別機)



2-(3) 短尺材・枝条等の収集運搬



2-(4) モデル畜舎の作成(牛舎見学)

# 木造比較提案書

## 【施設イメージ図】

1	施設名	食品加工施設		
2	施設概要	建築面積451.78㎡、延床面積441.20㎡、半地下構造、鉄骨・鋼材工法、舗装工費		
3	用途・地域	都市計画区域外		
4	防火地域等	指定なし		
5	建設の理由	工場(補助工場)		
6	階層	地上1階、地下1階		
7	敷地面積	7,992㎡	建築野面積	4,760㎡
8	建築(構造)面積	451.78㎡		
9	延床面積	441.20㎡		
10	木材使用量	77.42㎥ (0.17 ㎥/㎡)		
11	構造比較	山形半地下(鉄骨造)	2階半地下	
		山形サマシ構造	トラス構造	
		概算工事費	コスト比較(%)	
		基礎・躯体工事	109,204千円	126,174千円 0.79
		屋根・躯体工事	19,508千円	3,350千円 0.58
		基礎工事	24,915千円	16,429千円 0.66
		躯体工事	27,080千円	19,682千円 0.69
		内装工事	20,000千円	11,640千円 0.58
		外装工事	13,608千円	10,519千円 0.77
		設備工事	43,022千円	43,022千円 1.00
12	木造のメリット	その他	5,219千円	5,219千円 1.00
		共通費	15,148千円	11,981千円 0.79

※建築工事費は各工場のメトリック記載

注：建築物の重量が軽くなり基礎の形数も簡易になり基礎の施工期間が短縮される。また、造作の工法についても把握できる。コスト削減が期待できる。設備費も容易に出る。

2-(4) 木造比較提案資料

## 【施策の展開】

### 3 県産材の需要拡大の推進

ゼロカーボン社会づくりに寄与する木材利用について、県民の関心と理解を深めつつ、県産材を活用した家づくりや公共建築物等非住宅分や等での木造化・木質化を進めることはもとより、県外消費地や海外から選ばれる産地づくりに努め、県産材の需要拡大を推進する。

#### 【具体的な施策】

##### (1) 消費者に選ばれる産地・製品づくりの推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
○ 県外消費地における県産材プロモーションの展開やPR効果が高い施設等における県産材の利用を支援した。	・県産材セミナー開催：1回 ・県外での展示会出展：5回 ・産地見学ツアーの開催：1回 ・外装・内装木質化等支援：6件	○みやざき材県外プロモーション事業	山村・木材振興課 みやざきスギ活用推進室

##### (2) リフォームなど住宅産業等との連携の促進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
○ みやざき材の家づくりを推進する工務店等の登録制度や炭素貯蔵量認証制度の新設、住宅フェアへのブース出展、工務店等が行うPR活動に要する経費への支援を行った。	・住宅フェアへのブース出展1回 ・セミナー開催：1回 ・工務店等が行うPR活動への支援：3件	○ゼロカーボン社会に貢献する「みやざき材の家」普及促進事業	山村・木材振興課 みやざきスギ活用推進室

##### (3) 公共建築物・非住宅・土木分野等への利用拡大

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
○ 非住宅分野における木造化・木質化を推進するため、木造設計を行う建築士のスキルアップセミナー等を開催するとともに、中大規模木造施設等の設計支援を行った。	・建築士のスキルアップセミナー等の開催：6回 ・中大規模木造施設等の設計支援：2件	○みやざき材を魅せる「空間・人」づくり事業	山村・木材振興課 みやざきスギ活用推進室
○ 木材利用技術センターに設置した木構造相談室等によるアドバイスやモデルとなる施設の木造化等を支援した。	・技術相談・指導件数33件	○木材利用技術センター運営事業	山村・木材振興課 みやざきスギ活用推進室

##### (4) 県産材の輸出促進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
○ 県産材製品の輸出促進に取り組んでいる韓国・台湾に加え、中国（香港）への新たな海外販路の開拓に向けた取組を行った。	・海外での技術セミナー：1回 ・県内での輸出セミナー：1回 ・輸出相談員設置：3人 ・海外展示会への出展：2回 ・海外常設展示場設置：1か所 ・製品輸出の取組支援：2企業	○みやざき材海外プロモーション事業	山村・木材振興課 みやざきスギ活用推進室

##### (5) 木づかい運動の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
○ 「みやざき木づかい県民会議」を中心とした普及啓発活動や園児等を対象とした「木育」の推進、木製遊具等の整備支援を実施した。	【再掲】 ・県民会議の開催：1回 ・木育ネットワーク部会活動：9回 ・木育活動支援：14団体 ・木製遊具等の整備支援：12か所	○みやざきWOOD・LOVE推進事業	山村・木材振興課 みやざきスギ活用推進室

【主な指標と実績】

項 目	策定時 現況値 (R1年度)	実績値					目標値 R7年度	達成率	目標値 R12年度
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
公共建築物における木造率(%)	24.7	15.9	22.4	19.1	未公表		30.0	-	35.0
木材輸出額(百万円)	4,641	8,567	7,680	7,248	8,106		4,880	166.1%	5,017
うち、県産材の製品出荷額(百万円)	206	1,164	865	565	619		380	162.9%	517



3-(1) 県外展示会出展



3-(2) 県産材の家づくりPRブース出展



3-(4) 台湾展示会出展



3-(5) みやざき木づかい県民会議の開催

## 【施策の展開】

### 4 特用林産物の振興

しいたけ等特用林産物の生産体制の整備や安全・安心な商品づくり、直販活動への支援を含めた消費・販路拡大の取組に加え、ブランド産地づくりなどを進め、生産量の増大と販路の拡大を図り、林家収入の向上に努める。

#### 【具体的な施策】

##### (1) 特用林産物の生産振興

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
○ 経営安定や増産体制構築等に必要な施設整備への支援、新規参入者等の生産技術の向上を目的とした基礎研修を実施した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産者団体等への支援：14市町村</li> <li>新規参入者等基礎研修：3回</li> <li>ステップアップ研修：3回</li> <li>しいたけ中核指導林家：14人任用</li> <li>木炭技術員：3人任用</li> <li>乾しいたけ品評会：出品数 308点</li> </ul>	○しいたけ等特用林産物生産体制強化事業	山村・木材振興課

##### (2) 特用林産物の消費・販路拡大

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
○ 輸出に向けた体制整備や商品開発等への支援、認証取得に対する支援及び販促イベント等のPR活動、品質表示調査等を実施した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費拡大を目的とした商談会や新商品開発等への支援：7事業体</li> <li>現地飲食店へのテストマーケティング：3回</li> </ul>	○しいたけ等輸出拡大・PR支援事業	山村・木材振興課

##### (3) 新たな特用林産物の商品化

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
○ 輸出に向けた体制整備や商品開発等への支援、認証取得に対する支援及び販促イベント等のPR活動、品質表示調査等を実施した。	<b>【再掲】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>消費拡大を目的とした商談会や新商品開発等への支援：7事業体</li> <li>現地飲食店へのテストマーケティング：3回</li> </ul>	○しいたけ等輸出拡大・PR支援事業	山村・木材振興課

#### 【主な指標と実績】

項 目	策定時 現況値 (R1年)	実績値					目標値 R7年度	達成率	目標値 R12年度
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
乾しいたけ生産量(t)	422	388	360	310	270		480	56.3%	505
生しいたけ生産量(t)	3,101	2,910	2,643	2,224	2,181		3,190	68.4%	3,220
木炭生産量(t)	263	276	279	252	197		306	64.4%	342



4-(1) 原木しいたけ生産研修



4-(1) しいたけ品評会表彰式



4-(2) 販売促進イベント(新宿みやざき館KONNE)



4-(2) 小学校での食育講座

## 【施策の展開】

### 5 研究・技術開発及び普及指導

研究員や普及指導員の資質向上を図るとともに、行政や産業界、学術機関等が密接に連携して、現場ニーズを踏まえた試験研究はもとより、異業種等の新たな分野との連携強化に取り組むなど、高度で先進的な技術開発・普及指導体制の整備を推進する。

#### 【具体的な施策】

##### (1) 林業・木材加工試験研究と技術移転の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本県の森林・林業が抱える課題などをテーマに、ICT等新たな技術の活用や育林コストの低減、特用林産物の生産振興等を図る試験研究に取り組んだ。</li> <li>○ スギ探穂母樹の管理や苗木生産技術、シイタケ原木栽培における害菌の対応策について技術移転を行った。</li> <li>○ 県内木材関連産業の技術力向上、新製品の開発等に寄与するための企業ニーズ等に即した実用的な研究開発等に取り組んだ。</li> <li>○ 県産材の強度性能の明確化、集成材の接着技術、ラグスクリューボルトの引き抜き性能評価について技術移転を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 林業経営、造林及び保育、林木育種、森林保護、特用林産の5部門、7課題</li> <li>・ 研究成果の移転件数：2件</li> <li>・ 木材産業の競争力強化、県産材の需要拡大の推進関連：13テーマ</li> <li>・ 研究成果の移転件数：3件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 試験研究費（林業技術センター）</li> <li>○ 木材利用技術センター運営事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>山村・木材振興課</li> <li>山村・木材振興課みやざきスギ活用推進室</li> </ul>

##### (2) 異業種との連携促進による木材の新たな分野への利用推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 民間建築物の木造化・木質化を促進するため、みやざき木の建築推進協議会を設立し、木造化・木質化を推進するための一歩として、会員で営業ツールの作成及び営業戦略会議を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発注者や相談者に対して協議会を紹介する営業ツールの作成</li> <li>・ 3回のワークショップによる意見交換会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 木材利用技術センター運営事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>山村・木材振興課みやざきスギ活用推進室</li> </ul>

##### (3) 地域に密着した普及指導の展開

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 林業普及指導員が計画的・定期的に巡回し、効率的な普及指導活動を積極的に推進した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 林家等への経営指導：49回</li> <li>・ 市町村への支援（市町村森林整備計画実行監理、森林経営管理制度の指導等）：84回</li> <li>・ 林業事業体への指導：46回</li> <li>・ 林業研究グループ指導：46回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 林業普及指導事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境森林課 再造林推進室</li> </ul>

#### 【主な指標と実績】

項 目	策定時 現況値 (R1年度)	実績値					目標値 R7年度	達成率	目標値 R12年度
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
研究成果の移転件数(件:累計) 〔林業技術センター〕	88	92	94	96	98		100	98.0%	110
研究成果の移転件数(件:累計) 〔木材利用技術センター〕	72	78	81	85	88		90	97.8%	105



5-(1) スギ採穂母樹の管理と苗木生産技術の移転



5-(1) 県産材の強度性能の明確化



5-(2) みやざき木の建築推進協議会



5-(3) 林業事業者への伐採指導

### Ⅲ 森林・林業・木材産業を担う地域・人づくり

#### 【施策の展開】

#### 1 山村地域の振興・活性化

山村の暮らしに必要な森林路網等の定住基盤の整備はもとより、治山施設の設置や地域の森林の適切な保全管理の推進など、安全で快適な生活環境の確保を図るとともに、地域資源を活用した商品開発や都市との交流促進等により、山村地域の振興・活性化を図る。

##### 【具体的な施策】

##### (1) 定住環境の整備

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
○ 荒廃森林や山地災害危険地区等において、治山施設を整備することにより、事前防災・減災を推進するとともに、山地災害の復旧を行った。 積極的な山地災害防止キャンペーンの展開と市町村と連携して地域住民への危険地区の情報提供に努め、防災意識の高揚とともに、治山施設の点検結果を踏まえた老朽化対策に取り組み、災害防止機能の維持、向上を図った。	【再掲】 ・山地治山事業57箇所 ・緊急治山事業8箇所 ・県単治山事業10箇所 ・県単補助治山事業10箇所 ・山地災害防止キャンペーン	○民有林治山事業	自然環境課
○ 溪流等の周辺にある不安定な立木や溪流等に堆積した流木等の伐採及び除去等や林外等への搬出等を行い、流木等の河川や海岸への流出を防止し、安全・安心な県民生活の確保を図った。	【再掲】 ・県内5箇所の流木等：940空m3	○荒廃溪流流木等対策事業	自然環境課
○ 地域再生計画に基づく林道等の整備により、山村地域交流のネットワーク化や森林施業の促進を図った。	【再掲】 ・林道開設延長：3.1km ・森林作業道開設：31.3km	○地方創生道整備推進交付金事業 ○持続的林業推進路網整備事業	森林経営課

##### (2) 地域の森林の適切な保全管理

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
○ 森林資源の循環利用や公益的機能の高度発揮に資するため、森林経営計画に基づく計画的かつ効率的な造林、下刈り、除間伐等の適切な森林整備を支援した。	【再掲】 ・造林：1,843ha ・下刈り：9,425ha ・除間伐：1,254ha	○森林環境保全直接支援事業	森林経営課

##### (3) 森林資源の活用による就業機会の創出と所得確保

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
○ 都市部から地方への新たな人材還流を目指すお試し就業や就業準備給付金等の給付を行った。	・ショートステイ体験5名 ・就業準備給付金等2名	○特用林産業新規就業者ワーキング支援事業	山村木材振興課
○ 九州自然歩道の管理及び利用の促進を図った。	・歩道の維持管理 ・管理台帳作成 ・トークイベント ・美化活動を行う地域団体への助成：3団体	○九州自然歩道利用環境整備事業	自然環境課

#### (4) 都市と山村の交流促進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
○ 県内の自然公園が県民等にとって魅力的な場として認知されるための取組を推進し、誘客強化を図った。	・ 国立公園QRガイドの内容充実等 ・ 御池野鳥の森散策イベント ・ 登山道整備体験 ・ 園地美化活動への助成：2団体	○ みやざきの自然公園 誘客強化事業	自然環境課

#### 【主な指標と実績】

項 目	策定時 現況値 (H30年)	実績値					目標値 R7年度	達成率	目標値 R12年度
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
自然公園利用者数(千人)	9,289	5,709 (R2)	5,059 (R3)	6,101 (R4)	7,412 (R5)		9,300	79.7%	9,300



(着工前)



(完成)

1-(1) 令和6年度荒廃溪流流木等対策事業 御塩井地区(高千穂町)



1-(3) 九州自然歩道維持管理(川南町)



1-(4) 登山道整備体験(霧島錦江湾国立公園)

## 【施策の展開】

### 2 林業・木材産業を支える担い手の確保・育成

新たな担い手の確保・育成をはじめ、地域の意欲ある林業事業者や木材産業のリーダーを育成するとともに、林業事業者の就労環境・労働安全衛生の改善に努める。

#### 【具体的な施策】

##### (1) 新規就業者の確保・育成

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
○ 林業の実践的な知識や技術を有する新規就業者や、意欲と能力のある林業経営者などを養成した。	・研修受講数：697人 (内訳) ・長期課程：20人 ・短期課程：366人 ・経営高度化課程：208人 ・リーダー養成課程：19人 ・公開講座：84人	○「みやざき林業大学」担い手育成総合研修事業	山村・木材振興課
○ 新規就業者に対する林業のPR活動や就職相談会の開催、優れた林業技術者や労働安全対策の模範となる事業者の表彰を行った。	・就業相談会：相談者24人 ・個人表彰：5名 ・事業者表彰：1社	○みやざきの林業魅力発信事業	山村・木材振興課

##### (2) 林業・木材産業のリーダーの育成

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
○ 林業経営・技術の発展などにチャレンジする林業研究グループの自主的活動を促進し、林業振興等にリーダーシップを発揮できる人材を育成した。	・林業研究グループへの活動支援：14グループ	○林業研究グループ育成支援事業	山村・木材振興課
○ 林業の実践的な知識や技術を有する新規就業者や、意欲と能力のある林業経営者などを養成した。	【再掲】 ・研修受講数：697人 (内訳) ・長期課程：20人 ・短期課程：366人 ・経営高度化課程：208人 ・リーダー養成課程：19人 ・公開講座：84人	○「みやざき林業大学」担い手育成総合研修事業	山村・木材振興課
○ 大学生の視点を活かした地域及び森林産業の魅力や課題の可視化、森林産業の新たな価値を創出する山のダイゴミプロジェクトの推進により、森林産業のイノベーションに取り組む地域人材を育成した。	・ワークショップ等参加者：40人 ・試作・展示会の開催：1回	○森林産業イノベーション人材創出モデル事業	環境森林課

##### (3) 就労環境の改善

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
○ レーザ計測等を複合的に用いた森林調査等の実証を行った。	【再掲】 ・ドローンによるレーザ計測等を用いた森林調査手法の実証（県内2カ所、19.44ha） ・クラウド型ドローン測量ツール操作研修会の開催：1回（25名参加）	○ドローンによる森林調査等実証事業	環境森林課 再造林推進室

##### (4) 林業労働安全衛生の確保

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
○ 労働災害防止大会やリスクアセスメント研修の開催による労働災害の防止や、振動障害防止対策など労働安全衛生の確保を図った。	・労働災害防止大会参加者：689人 ・リスクアセスメント研修：2回開催、参加者49人	○労働安全普及啓発促進事業	山村・木材振興課

# 【主な指標と実績】

項 目	策定時 現況値 (R1年度)	実績値					目標値 R7年度	達成率	目標値 R12年度
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
みやざき林業大学校研修受講者数(人:累計)	463	1,235	1,679	2,268	2,965		2,863	103.6%	4,863
うち、長期課程研修受講者数(人:累計)	21	61	82	104	124		111	111.7%	186
新規林業就業者数(人)	211	155	180	210	166		150	110.7%	150

項 目	策定時 現況値 (H27年)	実績値					目標値 R7年度	達成率	目標値 R12年度
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
林業就業者数(人)	2,222	2,420	2,420	2,420	2,420		2,100	115.2%	2,000



2-(1) みやざき林業大学校長期課程(伐倒研修)



2-(1) みやざき林業大学校短期課程(林業作業士養成研修)



2-(2) 山のダイゴミプロジェクト展示



2-(4) 労働災害防止大会(指差呼称)

## 【施策の展開】

### 3 森林を育み、支える人づくり

次代を担う子ども達をはじめとする幅広い世代を対象にした森林環境教育や「木育」を推進するとともに、県民やボランティア団体、企業など多様な主体が参画した森林づくり活動を支援する。

#### 【具体的な施策】

##### (1) 多様な主体による森林づくり活動の促進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
○ 森林ボランティア団体等への活動支援や苗木の提供、企業の森づくり等の団体に対する活動を支援した。	・活動助成：41団体 ・苗木提供：26団体 （12,233本） ・企業の森づくり協定締結：3企業	○森林ボランティア団体等支援事業	環境森林課

##### (2) 森林環境教育の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
○ 学校や地域等が行う森林・林業体験活動や「緑の少年団」等への活動支援を行った。	・体験活動： 学校等39件、 地域自治会等11件 ・みどりの少年団の活動支援：37団	○森林環境教育啓発強化事業	環境森林課

##### (3) 木育の推進

取組状況	取組成果	主な関連事業名等	関係部局
○ 「みやざき木づかい県民会議」を中心とした普及啓発活動や園児等を対象とした「木育」の推進、木製遊具等の整備支援を実施した。	【再掲】 ・県民会議の開催：1回 ・木育ネットワーク部会活動：9回 ・木育活動支援：14団体 ・木製遊具等の整備支援：12か所	○みやざきWOOD・LOVE推進事業	山村・木材振興課 みやざきスギ活用推進室

#### 【主な指標と実績】

項 目	策定時 現況値 (R1年度)	実績値					目標値 R7年度	達成率	目標値 R12年度
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
企業による森林整備・保全協定面積 (累計)(ha)	378	394	398	409	615		429	143.4%	472
森林環境教育参加者数(人)	10,090	4,962	5,486	6,917	5,824		14,160	41.1%	18,230
木育活動参加者数(人)	2,416	1,521	3,186	2,681	2,925		3,846	76.1%	5,000



3-(1) 森林ボランティア団体による森林づくり活動



3-(1) 企業の森づくり 協定締結



3-(2) 森林環境教育



3-(3) 木育活動の支援